

群 教 セ	G15 - 01
	平 26. 253集
	中 - キャリア

# 平成26年度長期社会体験研修報告書

## 研修先：サンデン株式会社 サンデンファシリティ株式会社

長期社会体験研修員 大澤 彰仁

### I 研修内容

#### 1 研修先の概要

##### (1) サンデン株式会社について

サンデン株式会社は、1943年（昭和18年）に三共電気株式会社として設立され、本社を伊勢崎市に置き、日本をはじめ、アジア、アメリカ、ヨーロッパなど23か国54拠点で事業を展開するグローバル企業である。主な製品は、カーエアコン用コンプレッサー、自動販売機、ショーケース、エコキュートであり、これらの開発、製造、販売を行っている。

##### (2) サンデンファシリティ株式会社（ECOS事業部）について

サンデンファシリティ株式会社は、サンデンの系列個社であり、各サンデン事業所の施設管理事業や労働者の派遣や職業紹介などの人材事業、サンデンフォレストでの環境活動事業などを行っている。ECOS事業部は、年間約50校5,000名の小・中学生を受け入れ、自然体験活動や工場見学などを積極的に行っている。

#### 2 研修先での主な研修内容

##### (1) 新入社員研修【4月1日～4月19日】（研修場所：サンデンコミュニケーションプラザ）

○新入社員研修担当者のサポート業務（企業理念や経営方針の理解、ビジネスマナー実習、PDCA演習、組織や制度についての理解、事業所見学）

##### (2) 工場生産実習【4月21日～5月20日】（研修場所：赤城事業所流通システム事業工場）

○生産ライン実習（製造部組立1課2係でショーケース、組立2課3係で自動販売機）

##### (3) 森の管理と活用【5月21日～3月26日】（研修場所：サンデンフォレスト第一宅盤）

○森の管理（オオムラサキや天蚕、ヤギの飼育観察、下草刈りや間伐作業、安全対策としてスズメバチの捕獲用罠の設置と点検、散策道の整備）

○森の活用（環境学習や社会科見学の児童・生徒の受入対応、工場見学・自然体験活動のサポート、中学校への出前授業「森の役割」、NPO法人「あかぎくらぶ」「赤城自然塾」が主催するイベントにスタッフとして参加）

#### 3 キャリア教育実践

##### (1) キャリア教育資料について

新入社員研修、工場生産実習、森の管理と活用の三つの職場で体験したこと、体験して感じたこと、生徒に伝えたいことの順で資料を構成した。基礎的・汎用的能力の人間関係形成・社会形成能力の育成に視点を当てるとともに、授業での使いやすさを考慮し、資料とワークシートを一体化させた。

##### (2) 実践の概要（藤岡市立東中学校）

###### ①題材名 「先生の会社体験」（学級活動）

対 象 第3学年1組～4組 154名

キャリア教育資料の読み取りとプレゼンテーションを聞くことを通して、会社で働く上でどんなことが大事かを考えさせた。

###### ②題材名 「PDCA演習をやってみよう」（学級活動）

対 象 第3学年4組 39名

PDCA演習を通して、会社で働く上ではチームで働くことが大事である、チームで働くと効率が上がる等を理解、実感させた。

## II 研修成果

### 1 新入社員研修について

新入社員研修は、新入社員の気持ちを学生から社会人へ切り替えること、社会人としての基礎・基本を講義や演習を通して身に付けることを目的にしている。約3週間の研修で、若手社員と新入社員の絆、若手社員同士、新入社員同士の絆が生まれていた。チームワークの大切さ、仕事はチームで行っているということを見いだすことができた。

### 2 工場生産実習について

はじめてライン作業を経験し、長時間の立ち仕事の大変さを実感した。また、経験を重ねるごとに作業速度や正確性が上がり、無駄なく仕事を行うことができるという喜びを味わうことができた。次の作業者が仕事をしやすいように、部品の置き方や作業道具の準備、作業場の清掃などが徹底されていた。これらは日々の改善活動の積み重ねであり、問題を発見して適切に対処・改善するPDCAの実践は、ぜひ学校現場にも生かしていきたい。

### 3 森の管理と活用について

会社が環境に配慮し、地域への貢献に力を入れていることに感銘を受けた。どのような森にしたいのか、お客様に何を味わってもらおうのか等のビジョンの作成、実現に向けての話合いなど改善活動がここでもなされており、仕事の基本はPDCAなのだ改めて実感した。下草刈りやお客様の受入は、いつまでに何をどうしなければいけないか期限が決まっているので、「スピードを持って行動する」ことの大切さを学ぶことができた。

### 4 キャリア教育実践について

基礎的・汎用的能力の人間関係形成・社会形成能力は、現在、学校教育の中で育成すべき重要な能力であると考えられる。なぜならば、会社で働く上で相手の話を聞く、自分の意見を伝えることは欠くことができないからである。授業実践「先生の会社体験」において、生徒は『チームワーク』が大切であり、他者と協働することで『効率が上がる』『成長する』『新たな気づき』があることに気付くことができた。また、「PDCA演習をやってみよう」において、生徒は、チームで働くと自分ではできないことができるようになる、意見を出し合いより良いものができた等を実感することができた。そして、3年生全体で一つのチームとして高校入試等に臨みたいとの考えも持つことができた。

## III まとめ

「企業は人なり」、これは新入社員研修の講義の中で聞いた言葉である。新入社員研修では、企業理念や経営方針、行動指針など人材を育成するために必要な考えを学ぶことができた。サンデンファシリティ株式会社ECOS事業部では、様々なイベントを企画し、地域の方とともに自然体験活動を行うことで、「環境と産業の矛盾なき共存」を実感してもらうことができ、触れ合いを通して地域とのつながりをより強くすることができた。学校と地域の連携の仕方について参考になる場所が多くあった。

キャリア教育授業実践では、社会に出ていく生徒に学校現場でどのようなことを教えたらよいか、授業にどのようにキャリア教育の視点を取り入れていくか等を考えることができた。これからの学校教育では、9年間の教育課程の中でキャリア教育の視点を取り入れた年間指導計画の作成が各教科で行われ、小学校から中学校まで一貫した視点での教育、授業が必要となってくる。是非キャリア教育の視点を意識して、社会に出たときに活躍できる生徒を育てていきたい。

1年間という短い期間であったが、自分の財産として最も大きい物は、多くの方々と知り合えたことである。その人の発した言葉や考え方、実行力、やさしさや思いやりなど、今も鮮明に記憶している。出会ったすべての方々に感謝したい。

(担当指導主事 荻原 博樹)